

新しい中央図書館に期待できる最新の機能 —ラーニング・コモンズ、情報リテラシー教育—



平成24年10月29日(月) 第30回全学FD

新潟大学学術情報基盤機構附属図書館長 山口 芳雄

1. 図書館は、新潟大学の顔として 平成25年4月リニューアルオープン



学生の共同的・自立的な学習の場

読書・文献検索・学習の場

2. これまでの取り組み

- 1) 開館日数の大幅増加
- 2) コンピュータ端末の増加
- 3) 電子ジャーナルの増加
- 4) ラーニング・コモンズ*の設置

*** 学生の共同的・自主的な学習の
ための機能的な環境**

3. 利用者の利便性向上のために

1) 開館時間の延長

学生の学習時間を確保し、必要なときはいつでも図書館を利用できる学習環境の整備を行っている。休館日を少なく、22時まで開館。

2) 地域の図書館との連携協力

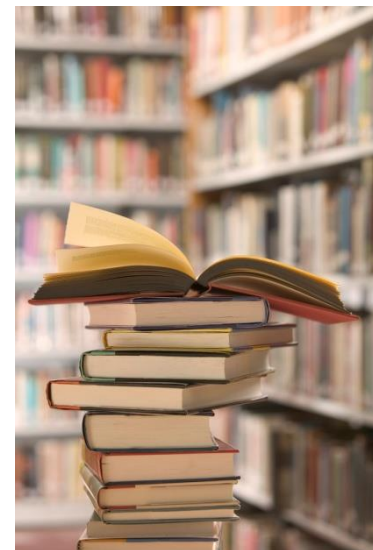
新潟県立図書館や新潟市立図書館、佐渡市立図書館と資料の相互貸借サービスを実施。地域の図書館ネットワークの一機関としての役割を担う。



4. 新中央図書館の基本理念

新潟大学の教育研究活動を支える図書館
～快適かつ機能的な知の空間で
豊かな学士力を育む～

電子情報と紙媒体資料を有機的に結び
つけた「ハイブリット・ライブラリー」の実現



4-1 ラーニング・コモンズ機能

- 学生の共同的・自主的な学習のための機能的な環境
- ネットワークを活用した情報の収集・加工・発信のための施設



■ 人的支援の提供

- 1) 学生のラーニング・アドバイザーによる学生の
自学自習をサポート
- 2) 文献検索・レポートの 書き方・パソコン操作、
大型プリンターの使い方をアドバイス
- 3) 学生自身の学習経験
や専門分野を生かす



4-2 アーカイブ機能

- 新潟大学が収集した学術情報を整理・保管して共同利用に供したり、新潟大学で産される学術情報の電子化した情報を発信する。

平成24年5月登録コンテンツ10,000件達成



新潟県地域共同リポジトリ
NiRR : Niigata Regional Repository

4-3 インフォメーション・ラウンジ機能

- 学外の方が立ち寄ることができる
ラウンジ的機能を備え、地域住民、
卒業生、教職員のコミュニケーションの
場を提供する。



5 図書館機能の増強

1) <大学改革実行プラン>の実施

学修時間の飛躍的拡大・学修環境整備

2) 情報リテラシー教育を実践

蔵書検索・情報検索・データベース検索、
新聞検索・電子ジャーナルについて
教員と図書館職員が協力して授業を実施

3) ラーニング・コモンズの拡大

ICT講義室・グループ学習室・FL-SALC・
メディアラボ・プレゼンエリアの整備

4) 研究成果の発信

ライブラリーホールを新設し、学会・シンポジウム・研究会などを開催。

5) 収容スペースの拡大

自動化書庫を設置(50万冊収容)

6) 長期滞在型の図書館利用のためのアメニティ環境

カフェ・リフレッシュコーナーを設置

学習支援

教育支援

研究支援

6. 是非、新図書館にご来館ください。

- 学習意欲を喚起するもの
 - 知的な刺激
 - 研究のヒント
を発見することができます。

終わり



[新潟大学図書館HP](http://www.lib.niigata-u.ac.jp/)

<http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>